

一般社団法人 日本専門医機構
第 3 回 理 事 会 議 事 錄

1.	開催日時	平成 30 年 8 月 24 日 (金) 16 時 00 分～17 時 30 分
1.	開催場所	TKP 東京駅前カンファレンスセンター ホール 4A
1.	現在理事数	25 名
	出席理事数	20 名
	理 事 長	寺本 民生
	副理事長	今村 聰 兼松 隆之
	理 事	浅井 文和 有賀 徹 池田 徳彦 遠藤 久夫 大川 淳 神野 正博 木村 壮介 久住 一郎 里見 進 南学 正臣 羽鳥 裕 花井 十伍 邁見 公雄 本田 浩 森 隆夫 森井 英一 渡辺 豊
1.	現在監事数	3 名
	出席監事数	2 名
		跡見 裕 松原 謙二
1.	陪席者数	7 名
		堀岡 伸彦 加藤 琢真 大野 豊 (厚生労働省) 植田 勝明 (兵庫県庁) 天瀬 文彦 新井 朋博 (日本医師会) 前田 雅晴 (全国自治体病院協議会)
1.	事 務 局	事務局長代行 栄田 浩二 他
	欠席理事数	5 名
	理 事	市川 智彦 井戸 敏三 北村 聖 寺本 明 向井 千秋
	欠席監事数	1 名
	監 事	相澤 孝夫

議事次第

I. 協議事項

1. 平成 31 年度専攻医募集について
 - (1) シーリングについて
2. 各種委員会委員長・委員について
3. 専門医認定・更新部門 協議事項
 - (1) 専門医更新 2 次審査について (小児科)
4. 第三者調査委員会について
5. その他

II. 報告事項

1. 総合診療領域のプログラム申請について
2. 専攻医登録 (募集) に向けたスケジュールについて
3. その他

III. その他

16時00分、定刻に至り、理事長より挨拶の後、出席理事数の確認があり本理事会の成立を宣言し議事を開始した。

I. 協議事項

1. 平成31年度専攻医募集について

(1) シーリングについて

理事長より、8月19日に「シーリングに関する基本領域会議」を開催し、シーリングの対象となる14領域に対し説明及び意見聴取を行ったことが報告された。領域からは、5%削減の根拠や東京都の地域医療への貢献度に対しての見解が問われ、人数の少ない領域からも一律に削減を行うことへの憂慮等が示されたが、地域医療への配慮ということで概ねの領域から了承が得られたことが報告された。

理事からは、前述の領域と同様の意見の他、シーリング対象を東京都のみとすることへの妥当性や、5%削減を了承した領域も相当の反発があったうえでの了承であること、領域毎に事情が異なることから、削減方法は領域に一任してほしいこと、少なくとも向こう3年程度はシーリングの削減などを行わずに専攻医の移動傾向を注視するとともに、長期的なデータに基づいて今後のシーリングを検討してもらいたいこと、地域に配慮したプログラムの作成を検討して欲しい等の意見が出された。また、総合診療領域はシーリングの対象外となっているが、内科等の縛りが厳しい場合には総合診療に変更する人が出ると考えられることから、多少でも制限があった方が良いのではないかとの意見も出された。対して、領域によっては専攻医が0人の県もあることから、5%の削減では少ないのではないかとの意見も出された。

理事長からは、今回のシーリングは地域医療への配慮ということでご理解いただきたく、シーリング対象である東京都で優先的に削減するプログラムについては、東京都内完結型または東京・神奈川で完結するプログラムを対象とすることをステートメントとして示したいと述べられた。またシーリングについては、初年度が始まったばかりで検証に値するデータが無いことから、数年は今年の応募数を維持していくかたちで動向を注視し、あるべき数字を見極めたいこと、シーリング(定員問題)検討委員会において継続的に検討していく予定であることが述べられ、理事会で承認された。

2. 各種委員会委員長・委員について

理事長より、今期理事会のもとで設置する委員会の委員案が諮られ、共通講習ワーキンググループ委員長については、前回提示した市川智彦理事から鈴木秀和氏に変更すること、データベース検討委員会の委員には、理事を1名追加することが承認された。なお、委員については必要に応じての委員の追加や、オブザーバーとして意見を伺うことも可能であることも報告された。総合診療医検討委員会については、委員の人数が多く意見調整が容易ではないことから、委員長に対してしっかりと委員会運営を行っていただきたいとの期待が寄せられた。

また、基本領域連携委員会、基本領域専門医委員会、基本領域研修委員会の委員については、従前の通り、各基本領域へ委員の推薦を依頼し、可能であれば議論の統一化を図るため同じ人を委員として推薦いただくよう依頼することとした。

複数の理事から、委員会における情報の取り扱いには十分留意して欲しいとの要望がだされ、理

事個人が照会事項に回答すると、その回答は機構としての回答になりうることから、その場で回答することは差し控え、一旦照会事項を持ち帰り、責任をもって回答するようにしてほしいとの意見や、照会事項は集約してほしいとの意見が出された。

その他、理事長より、委員会に関する規定を整備し、委員長のほかに副委員長を置く等の在り方を含め統一化を諮りたいとの意向が示され、これらの規定類については、総務・規約委員会で検討することとした。

3. 専門医認定・更新部門 協議事項

(1) 専門医更新 2次審査について（小児科）

市川理事より、機構の定めた更新基準に基づき学会の1次審査に合格した小児科専門医（2,320名）について、2次審査の結果、機構認定専門医として承認したことが報告され、理事会において承認された。

4. 第三者調査委員会について

理事長より、情報管理に関する不適切な事案があったため、事案の内容を精査とともに再発防止策を検討するため、第三者調査委員会を設置したいとの案が諮られた。監事より、第三者調査委員会を設置する場合には、調査結果の答申予定時期及び費用発生における財政的裏付けを確認する必要があるとの指摘がなされた。理事長からは、答申時期は可能であれば今秋を目処としたいこと、答申内容は再発防止策及び対処方法とともに、最終的な答申の際に委員長氏名を公表予定であること、費用についてはそれほど高額とはならない見込みであることが示され、本調査委員会設置が承認された。

II. 報告事項

1. 総合診療領域のプログラム申請について

理事長より、総合診療領域の専門研修プログラム申請の受付を開始しており、受付期間は8月17日から30日までであること、本来は理事長名と総合診療医検討委員会委員長名の連名での通知が望ましいが、同委員会は正式に発足していないため、今回は理事長名で発出したことの報告がなされた。

なお、今後厚生労働省に設置予定の審議会の議論を受けて専攻医の募集が始まる予定であることも併せて示された。

2. 専攻医登録（募集）に向けたスケジュールについて

理事長より、資料を元に今年度の専攻医登録（募集）に向けたスケジュールが示され、前回の理事会で説明したとおり、医師法の規定に基づき、地域医療対策協議会及び厚生労働大臣の意見聴取等の手続きの関係上、スケジュールが非常にタイトになる予定であることが報告された。

3. その他

理事長より、原則として理事会の前週金曜日に、理事長、両副理事長及び各委員会委員長を委員とした運営委員会を開催し、委員会報告及び理事会における議事の確認を行うことが報告され、出

席できない場合には書面で委員会報告や意見をいただくこととした。

記者会見は、原則として理事会の翌週月曜日に行う予定であることが示され、公平性の観点から、会見までは理事会決定事項等の情報を他者に口外しないよう理事・監事へ注意を促した。

その他広報関連として、関係各所から機構に寄せられる照会事項については事務局全体で対応し、必要に応じて委員長にも確認を取り、回答状況を理事会で報告して欲しい等の意見が出された。また、全ての委員会を公開すべきであるとの意見、前回の理事会においても指摘がなされた会議の議事録、速記録の公開及び取扱いについて意見が出され、監事からは、情報については前期理事会同様に広報を通じて提供して欲しいとの見解が示された。

その他、今村副理事長から、医師の教育の在り方について、今後は卒前教育、医師国試、臨床研修から専門研修へとシームレスにつながっていく方向であり、厚生労働省と文部科学省との連携も含め、国の審議会等でも統制を持って検討して欲しいとの見解が示され、理事からも、指導医についても同様にシームレスを実現できるよう、臨床研修指導医資格を取得している医師が専門研修における指導医資格も取得可能とするのが望ましいとの意見も出された。

本理事会での決定事項

- ・今年度のシーリングについて、東京都内完結型または東京・神奈川で完結するプログラムを対象として、前年度シーリング数の5%削減が決定。
- ・共通講習ワーキンググループ委員長の変更。データベース検討委員会委員に理事から1名追加。
- ・機構認定小児科専門医（94名）承認。
- ・第三者調査委員会の設立承認。

今後の会議予定

- ・第4回理事会 平成30年9月7日（金）16時～18時

以上をもって、本日予定された議事を終了し、この議事内容を明確にするため議事録署名人として監事が指名され、17時30分に散会した。

平成30年8月24日

理 事 長 寺本 民生
寺本 民生

副理事長 今村 聰
今村 聰

副理事長 兼松 隆之
兼松 隆之

監 事 跡見 裕
跡見 裕

監 事 松原 謙二
松原 謙二